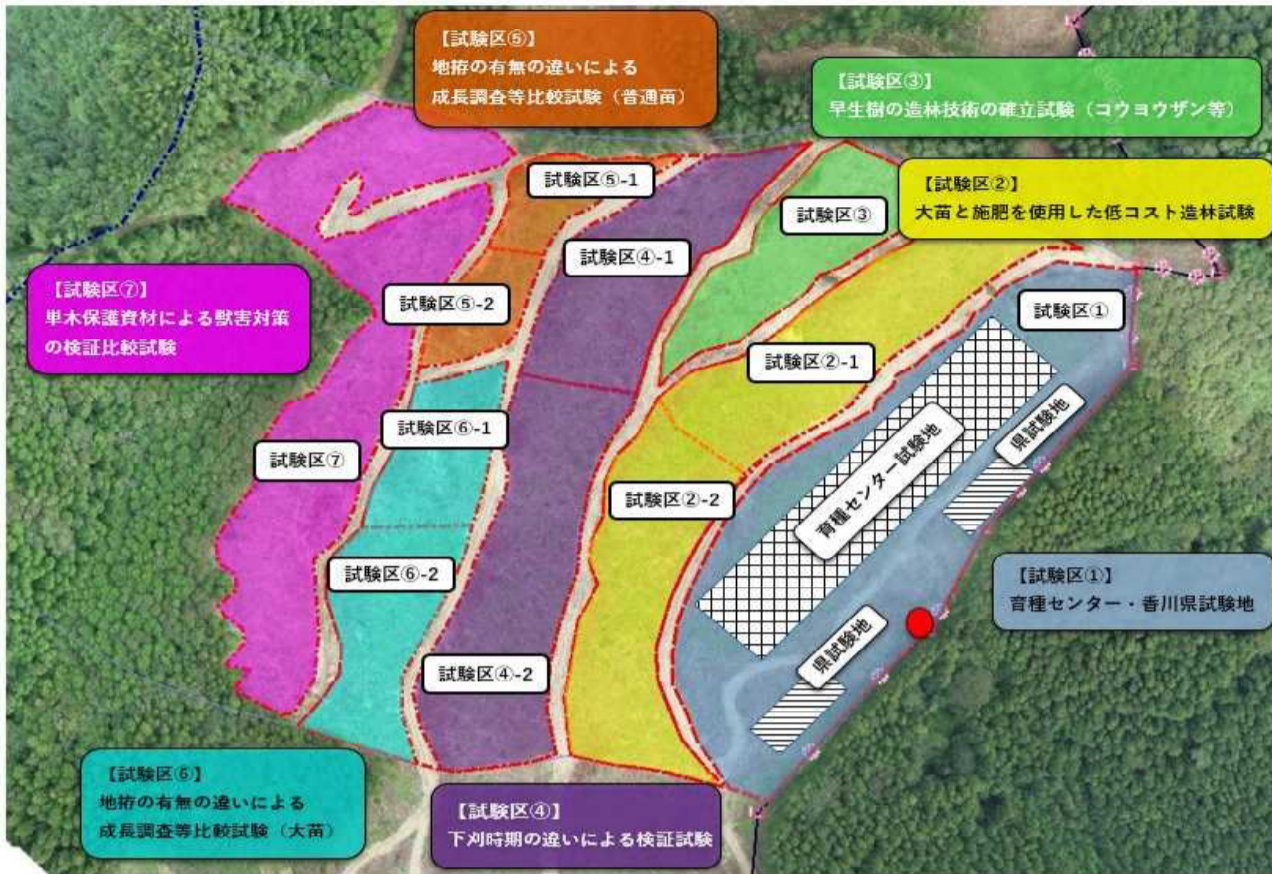




今回、「集約化試験団地」を設定しました!



鷹山国有林の集約化試験団地 (高松市塩江町)

私たち森林技術支援センターでは、森林の持つ様々な働きを効果的に発揮することを目的に国有林をフィールドにいろいろな試験地を設定しています。

しかしながらこれまでは、各試験地が散在していたため各試験の効率的な連携や比較が困難だったり、せっかくの取組内容や成果を皆さんにお知らせすることが難しくなっていました。

そこで、アクセスが良く、一度にいろいろな試験地をご覧いただける「集約化試験団地」を香川森林管理事務所(高松市塩江町の鷹山国有林)と嶺北森林管理署(いの町戸中の葛籠谷黒滝山国有林)に設定しました。

集約化試験団地で一度にご覧いただける試験内容は次のとおりです。

- ①大苗と施肥を使用した低コスト造林試験
- ②早生樹の造林技術の確立試験
- ③地拵省略における苗木の成長調査等比較試験
- ④下刈時期(夏・冬下刈)の違いによる検証試験
- ⑤単木保護資材(5種類)による獣害対策の検証試験

「小型囲いわな (こじゃんと1号)」を試していただきました。

～越智今治森林組合の説明会で実施～

愛媛県では、林業関係者が広域かつ計画的な捕獲と効率的な防護等をモデル的に実施し、シカの侵入の監視体制の強化を図る取組みとして「令和2年度シカによる森林被害緊急対策事業」が実施されました。

今回、その事業の一環としてシカ対策に関する説明会が、越智今治森林組合(今治市玉川町)で今治猟友会多摩川支部はじめ関係団体職員の方々総勢17名の参加のもと開催されました。

説明会ではニホンジカの生態・繁殖、四国地域の生息状況、捕獲状況やシカ捕獲のビデオ等の説明が行われるのに併せて四国局が開発した、「小型囲いわな (こじゃんと1号)」の設置に関する講習会を行なわせていただきました。

参加者からは「わなの仕掛け方や安全作業の注意点、餌のまき方やシカが餌に来ているかの食痕など、大変勉強になった」と好評の説明会となりました。私たちは、今後も様々な現場へ出向き指導させていただき少しでもシカ被害の軽減につながるようお手伝いさせていただきます。

現在は、コロナ渦で皆様にお集まりいただくのは難しい状況ではありますが、当センターでは先ほど紹介させていただきましたこの2箇所の「集約化試験団地」などを現地検討会や勉強会のフィールドとして積極的に活用していきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

